

# 週報



### 2016 年 年頭標語

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する  
天一国の真の主人になろう

### 2016 年 VISION

幸せな家庭 健康な教会  
国家と世界に貢献する統一運動

### 2016 年 活動指針

1. 理想家庭と心情共同体形成
2. 神氏族メシヤ活動強化
3. 二世圏活性化
4. 社会貢献と救国救世基盤造成

## 世界平和統一家庭連合

(旧 世界基督教統一神霊協会)

## 加賀家庭教会

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION  
KAGA FAMILY CHURCH

教会長：石垣 重広

## み 言

### 『空前絶後の歴史的で革命的な大転換期』

終末はどのような時かといえば、夜なのか昼なのか、これが正しいのかあれが正しいのか、判断ができない時です。混乱が起き、あれもこれも区別ができない時です。 (1973.10.23)

その時は願いが揺れる時であり、信じている信仰の中心が揺れる時であり、信じてきた指導者が揺れる時です。主義はもちろん、宗教、良心、父母の心情までも、すべて揺れるのです。それでは、神様はなぜ、そのような世の中にしておかなければならないのでしょうか。それは、歴史的に苦勞された神様と同参(一緒に参加すること)した、という価値を与えるためです。神様は六千年の間、数多くの惨状を御覧になってきたのであり、数多くの曲折を経てこられたので、終末においては、良心や主義、信仰というものをもって中心を立てることができない環境に直面させるのです。そのような患難の中でも神様を愛し、そのような困難な場でも神様と共に生きるという真の息子、娘を探すために、そのような時が訪れるのです。 (1961.2.12)

皆さんは、教会が揺れるのを見て悲しまず、ある主義が動揺するのを見て悲しまず、ある主権者が倒れるのを見て悲しまないでください。自分の父母が変わってしまうと悲しまず、自分の兄弟が変わって離れていくと悲しまないでください。頼りとし、信じていた世の中のあらゆるものが揺れ動いたとしても、皆さんの心は泰然としていなければなりません。

神様は動揺することなく、この時間も「私」を訪ねてきていることを知らなければなりません。神様が私たちに苦痛を与えるのは、御自身の貴い一日、御自身が経てきた苦痛の因縁と私たちを結んでくださるための大いなる約束だということです。そのような場で、天を胸に抱き、「一緒に行きましょう。一緒に闘いましょう。一緒に行動しましょう」と叫んで立ち上がる人を探すために、そのような時期が必要なのです。 (1961.2.12)

神様がつくった複雑な状況は、悪いものではありません。どこに行ってもぶつかり、どこに行っても死ぬほど苦しむようにしておいたのは、垢を剥ぎ取り、傷口からうみをかき出して、墮落性を早く脱がせようとするためです。体がめっちゃくちゃになり、垢が幾重にも重なっているのです。それをすべて剥ぎ取るためには、平坦な環境ではいけません。環境が平坦でなければ、殻がどんどん剥ぎ取られるのです。ですから、複雑になればなるほど、蕩滅的解怨成就が早いというのです。 (1993.1.2)

大きなことをする人たちは必ず、ある限界線を越えなければなりません。このような限界線を越えるためには、必ず試練を経ていかなければなりません。自分自身をそのように訓練しなければなりません。神様が願う基準が高ければ高いほど、それに比例して、試練の舞台も大きくなるのです。十くらいの器をもつ人に、百くらいの基準の試練を与えるのです。それは、その人を滅ぼすためではありません。百くらいの試練を与えて、それに匹敵する実力をもたせるための作戦なのです。 (1969.10.12)